

なかごう 12月号

中郷地区公民館だより 令和7年12月発行
発行 中郷地区公民館 TEL39-0713



中郷地区ふれあい文化祭で賑わう

中郷地区ふれあい文化祭は11月8日(土)・9日(日)の2日間、中郷地区体育館で開催され、期間中には中郷地区社会福祉協議会主催のふれあい福祉まつりやまちづくり協議会主催の安久節コンテスト、教育文化講演会などが行われました。延べ千人の来場者でにぎわいました。

【オープニング】



▲中郷保育所園児のかわいい歌でオープニング

【児童生徒意見発表】

安久小学校、梅北小学校、中郷中学校の児童・生徒たちが、ふる里中郷への思いや誇り、学校への愛着など、自分が今思うこと、考えていることなどを発表しました。



▲地域福祉活動計画のワークショップに参加し、考えたことなどを発表した中郷中3年新保正一郎さん



▲安久小学校の紹介を行った、6年生八木夏音さん、村田絆織さん、原口結衣さん、津曲陽向さん



▲「友達の大切さ」というタイトルで発表をした梅北小6年伊地知沙和さん

【安久節コンテスト】

安久節コンテストは、正調安久節部門に5チーム、オリジナル部門(サンバヤッサ)に5チームが参加しました。正調部門は小学生の2人組高野原BOYSが優勝。オリジナル部門は社会福祉法人こころが3年連続優勝を果たしました。



▲安久節保存会の皆さんの模範舞踊で開幕



▲安久節コンテストで優勝した「こころ」のパフォーマンス



▲正調安久節部門で優勝した、「高野原BOYS」



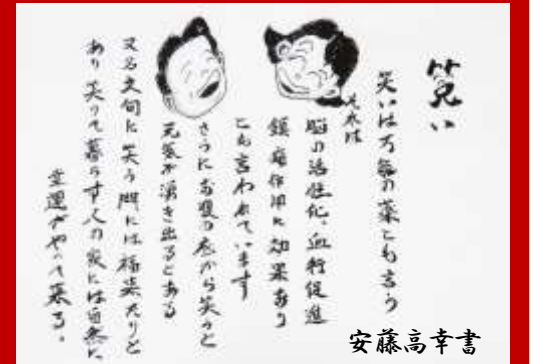
▲イベントを盛り上げた社会福祉協議会のグループ



▲大人数で参加した学童やっさクラブの児童



▲息の合った踊りは、ゆかいな仲間たちの皆さん



安藤高幸書

【教育文化講演会】

教育文化講演会は2日目の9日(日)に行われ、チンドン屋「花ふぶき一座」の座長宮田わかさんが講演しました。

教師を志し、教育大学で学んだ宮田さんが、就職した会社で初の女性営業マンを経て、「人に笑顔と元気を与える人になりたい」とチンドン屋になるまでの思いや、現在に至るまでの半生を話し、講演の途中では、子どもたちのチンドン屋体験をしたり、アコーディオンに合わせて懐かしの歌を歌ったりして場を和ませて、楽しい講演会となりました。



▲講演会に来ていた小中学生がチンドン屋を体験【作品展】



▲手芸や絵画、書など、約870点が展示されました